

第3章 会津鉄道

第1節 4日目：7月12日（木）：会津下郷～西若松 晴れ

2025年7月12日（木）晴れ、会津地方の旅の4日目は、会津鉄道（かつては国鉄）の会津下郷駅から西若松駅までの営業キロ31.1kmに挑戦する。営業キロでは、今回の旅で最長の区間である。冒頭でも述べた通り、芦ノ牧温泉南駅と大川ダム公園駅を本日は立ち寄れず、翌日リベンジでの対応となった。本日も会津若松6時56分発の始発（鬼怒川温泉行き、2両編成）のため、6時半からのホテルでの朝食はパスして臨む。



※いざ出陣





※車窓からの風景





※会津下郷駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。門田駅で下り列車との離合がある。

会津下郷(7:47)～弥五島(8:47)～塔のへつり(9:16)～湯野上温泉(10:22)～芦ノ牧温泉南(?)～大川ダム公園(?)～芦ノ牧温泉(13:48)～あまや(14:47)～門田(15:44)～南若松(16:20)～西若松(17:12)

①会津下郷駅を種々のアングルで撮影してから弥五島駅を目指す。国道121号線を軸に歩く。7時51分、檜原郵便局があった。7時57分、万歩計で82歩ある姫川橋(戸石川)を渡る。8時3分、喜多方53km、会津若松33kmと記した道路標識前を通過。8時10分より、176歩ある檜原歩道橋(阿賀川)を渡る。8時12分、下郷中学校があった。8時17分、消防署下郷出張所前を通過。近くにセブンイレブンがあった。8時21分より、131歩ある若水橋(阿賀川)を渡る。8時25分、鉄道下を潜る。国道から右折し、くねくねした小径を歩いた先に弥五島駅(8時43分)があり、心温まる感じの待合室があった。



※弥五島駅への路





※弥五島駅

②8時46分、駅前から直線距離にある国道121号線には、8時46分合流する。右手に会津若松行きの列車が通過して行く。8時50分、下り坂となる。ナビを適宜見ながら用心深く歩く。そして、国道から分岐する道筋を見つけ、坂道を下る。途中地元の人に対面し、念のため、「塔のへつり駅への道筋」をお伺いする。「真っ直ぐ下り、踏切を渡った先にあります」と教えて頂く。教えて頂いた通り、塔のへつり踏切を横切った右手に塔のへつり駅（9時16分）があった。国道から500m位下った先にあった。この駅は用心深く歩かないと未踏破の可能性を感じる駅舎であった。胸を撫でおろす。





※塔のへつり駅への路



※塔のへつり駅

③坂道（先程歩いた道筋）を上り、国道 121 号線に 9 時 26 分合流する。この交差点界限には下郷町物産館があった。9 時 37 分、67 歩ある仲山橋を渡る。9 時 40 分、崩橋（へつり）を渡る。それにしても旅すると難しい漢字に出会うものだ。また、情緒や趣などを感じる地名や駅舎名にも。これも旅する楽しみの一つである。9 時 43 分、福

島空港まで 67 km と記した標識前を通過。10 時 3 分、江川郵便局前を通過。10 時 16 分、国道を右折し、第 2 日光街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。温泉街を歩いた先に湯野上温泉（10 時 22 分）があった。温泉街の道筋で明日乗る観光バスが往路復路とも通過して行く。この駅に面して足湯があった。駅構内にある観光センターで明日観光予定の大内宿へのアクセスについてお伺いする。時刻表を頂き、明日の予定を考える資料となる。この駅で甘酒を頂き 10 分位寛ぐ。



※湯野上温泉駅への路





※湯野上温泉駅

④先程を通った踏切を横切り、国道 121 号線に戻る。11 時 12 分、97 歩ある湯野上橋を渡る。その先に左手側に大内宿への交差点があった。急な山道の道筋であった。ここからは国道 121 号線と国道 118 号線の併記の道筋となる。11 時 56 分、会津若松 24 km と記した標識前を通過。10 時 58 分より、615 歩ある湯野上スノーシェッドを通過する。11 時 20 分、小沼埼パークの案内板があった。この先に芦ノ牧温泉南駅に繋がる道筋があったが、ナビの検索を割愛したため、阿賀川が立ちはだかり、芦ノ牧温泉南駅と大川ダム公園駅には立ち寄れない状況となる。11 時 27 分より、1,643m ある

下郷トンネルと沼尾トンネルを通過する、通過するのに25分（万歩計で3,143歩）要す。トンネル内で「690m+1,090m」と表示の標識もあった。このトンネルを出た後で、誤った道筋を歩いたのに気付く。引き返しリベンジも考えたが、再度暗闇のトンネルを潜る気にはなれず。また、リベンジしたとしても、本日、日没前に西若松駅に到着するのは難しいと考え、明日、大内宿観光後にリベンジすることにする。



※芦ノ牧温泉南駅への路（この先のトンネル通過が大失敗）



※芦ノ牧トンネルを通過すると芦ノ牧温泉街となる

11 時 55 分、大川ダム下郷発電所前を通過。12 時 10 分より、699mある小沼埼トンネルを通過。12 時 16 分、下郷町から会津若松市となる。12 時 29 分より、540 歩ある新大川橋（阿賀川）を渡る。12 時 41 分より、589 歩ある芦ノ牧トンネルを通過する。このトンネルを出ると、芦ノ牧温泉のホテル街があった。12 時 48 分より、330 歩ある芦ノ本久橋を渡る。13 時 27 分より、281 歩ある小谷橋を渡る。芦ノ牧温泉駅には 13 時 48 分に到着する。この駅への道筋、牛乳やがあったので立ち寄り、ソフトクリームを頂き火照った身体を癒す。この 10 分位の休憩は、元気を取り戻してくれた。ここから西若松駅まで 10.5 kmあるので。



※芦ノ牧温泉駅への路

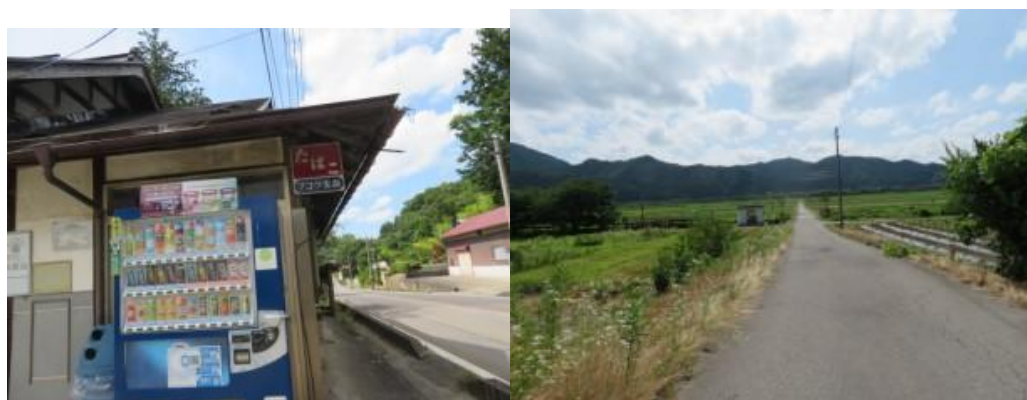


※芦ノ牧温泉駅（猫に力点を置いた駅舎だった）

⑤14時8分、御世話になったフコク生命たばこ看板前を通過。あまや駅には14時47分到着する。辺りは水田であった。国道118号線から少し入った先にあった。



※牛乳やで一休み



※あまや駅への路





※あまや駅

⑥14時54分、雨屋という標識前を通過、15時22分、29歩ある沢川橋（沢川）を渡る。国道から左手にあるくねくねした道筋を歩いた先に門田駅（15時44分）があった。この駅も、あまや駅と同様、周りは水田地帯であった。



※門田駅への路



※門田駅

⑦門田駅から路地を淡々と歩く。16 時 1 分、六地藏尊萩之原があった。昨日、歩いた道筋から見えた南若松駅には 16 時 20 分到着する。上下口踏切を横切った先にあった。



※南若松駅への路



※南若松駅

⑧昨日歩いた道筋とほぼ同じルートを経由して西若松駅を目指す。西若松駅には17時12分に到着する。運よく、17時17分の列車に乗ることができる。今日もうっかりして首に掛けたタオルをロストする。



※西若松駅への路



※西若松駅

⑨ホテルには17時40分着。汗を流した後、昨日お邪魔した寿し万に立ち寄り、マスターに今日の報告をする。至福の楽しいひと時があつという間に過ぎ去る。「2万キロ達成の暁には、報告も兼ね参ります」と言つてこの店をあとにする。未踏破で悔しい思いもしたが、それなりに旅をまとめることができ、充実した一日であつた。



※会津若松駅、寿し万で祝杯

第2節 5日目：7月13日（日）：大内宿散策&

湯野上温泉～芦ノ牧温泉リベンジ 晴れ

2025年7月13日（日）晴れ、会津地方の旅の5日目は、大内宿散策に加え、昨日未踏破した会津鉄道の芦ノ牧温泉南駅、大川ダム公園駅の立ち寄りに挑戦する。本日は7月11日（金）に引き続きホテルで朝食をとって臨む。会津摩若松駅を9時2分発でもOK（9時42分）のところ、7時51分発の湯野上温泉駅着（8時30分）で臨む。

大内宿行きの観光バス”の猿游号（さるゆうごう）”は9時45分発車のため、1時間15分、湯野上温泉駅でゆっくり立ち止まる時間がある。お陰様でこの待ち時間を活用し、カッシーチラシを手渡し話す機会を2回得る。至福のひと時だった。



※大内宿へ

<大内宿の散策>

下郷町にある街並みは昨年6月立ち寄った白川郷を思い出し懐かしくなった。大内宿に入り少し歩いた先で、11時頃となったので、お腹は減っていなかったが、昼時間は混むとの情報を聞いていたので、大黒屋に立ち寄り、少し早い昼食として名物のネギそばを頂く。ネギを箸とする食べ方は非常に時間を要したが、何とか対処できる。大黒屋の前、大内宿街並み展示館が目に入る。この展示館の立ち寄り、江戸時代の風情の一端を堪能できた。ガイドブックによると、この展示館は、国選定重要伝統的建造物群保存地域「大内宿」のほぼ中央にある茅葺き屋根の建物とある。かつての間屋本陣跡を再建したもので、館内には江戸時代の部屋があり、写真や生活用具1,300

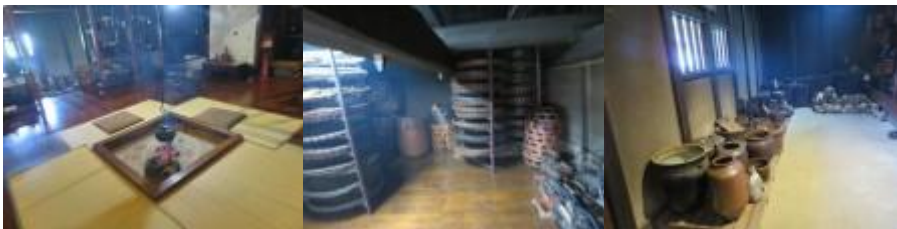
点あまりが展示されているとのこと。この展示館で 15 分位立ち止まり鑑賞する。特に
 囲炉裏が印象的であった。ここでも係りの方から、私の帽子を見て、お声がかかる。
 早速、カッシーチラシを手渡す機会を得る。その後 30 分位、大内宿を散策して、11
 時 50 分の猿游号で湯野上温泉駅に戻る。



※猿游号で大内宿へ



※大内宿少し散策後、大黒屋に立ち寄り



※展示館に立ち寄り





※大内宿を散策



※猿遊号バス停までの路



<昨日のリベンジ>

湯野上温泉駅には 12 時 8 分戻る。

本日リベンジ区間の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

湯野上温泉 (12:08)～芦ノ牧温泉南(13:37)～大川ダム公園(14:17)～芦ノ牧温泉
(16:24)



※湯野上温泉駅

①芦ノ牧温泉南駅への橋に注意しながら歩く。12時11分、第2日光街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時20分、猿遊号が通り過ぎ、大内宿への道筋（県道329号）を上って行く。二つ目のトンネルに注意しながら歩く。13時、国道118号から分岐する県道214号線（大川ダムへの道筋）へ右折する。左手1,000m位先に大川ダムがあった。13時11分、前方にJR線の線路が見え安堵する。13時12分より、755歩ある大川ごめん橋（阿賀川）を渡る。橋を渡った先を道なりに歩いた先に芦ノ牧温泉南駅の線路は見えるが、駅舎には立ち寄れず。200m位引き返し、15m位ある急な階段を上る。階段を出た先には民家が広がっていた。街並みを200m位歩いた先に芦ノ牧温泉南駅（13時37分）があった。駅前には大川集会場があった。



※大川ダム交差点までの路（昨日のルートを辿る）



※大川ダムへの路



※端までの路



※線路は見えるが、駅舎は遠い



※急な階段を上り、芦ノ牧温泉南駅へ



※芦ノ牧温泉南駅

②13時41分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。県道214号線に合流する。14時3分、大川ダム下に到着する。14時4分、熊出没の看板前を通過。先方にJR線路を見つける。道路下が線路である地点を通過し、鉄道の右側を歩く。大川ダム公園駅には14時17分に到着する。辺りには民家は全くなし。駅に面して太陽光発電があった。この駅で連絡帳にメモする。



※大川ダム公園駅への路





※大川ダム公園駅

③先程歩いた道筋を少し歩き、大川ダム方面に向かう。T路地にぶつかり、会津若松駅方面の道筋を進む。14時46分より、228歩ある橋（阿賀川）を渡る。14時54分より、阿賀川に沿った333歩ある洞門を通過する。15時より、崖危険地帯を歩く。50m以上ある急な崖が100m位続く。15時8分、224歩ある橋を渡る。頭上には国道118号線があった。15時14分この国道に合流する。15時21分、会津若松市街まで17kmと記した看板前を通過。15時22分より606歩ある芦ノ牧トンネルを通過する。このトンネルを出ると、芦ノ牧温泉街が広がっていた。340歩ある芦ノ牧橋を渡る。15時44分、只今の気温28℃とある。16時7分、小谷橋を渡る。16時8分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。淡々と歩いた先に芦ノ牧温泉駅（16時24分）があった。芦ノ牧温泉駅16時6分のダイヤがあると思ひしや。本日は日曜日のため運休であった。必死で歩いたが、先日の会津坂下駅に引き続き、努力が報われず。次は17時30分で、約1時間の待ち時間となる。しかも、「17時以降、冷房を停止します」旨の連絡が駅員さんからある。非常についていない時間帯を過ごすことになる。本日は、猫のキャラクターは店じまいして見られず。本日の歩きによる万歩計は33,356歩だった。





※国道 118 号線への路



※芦ノ牧温泉への路





※芦ノ牧温泉駅

④長い退屈な待ち時間を経由し、17時30分の列車で、会津若松駅に移動できる。会津若松駅には17時57分に到着。そしてホテルには18時9分に到着。今日は今回の旅で初めて休肝日とする。コンビニで買い物をして、夕食対応。実りある充実した一日であった。



※やっと列車に乗れる



※会津魔若松駅へ